

# 1 「第6次地域福祉市民活動計画」策定の経過

(1) 地域福祉市民活動計画策定委員会

## ① 委員会

2023（令和5）年



日程	内容
9月20日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 現計画「立川市第4次地域福祉計画」及び第5次地域福祉市民活動計画の説明</li><li>・ 今後の進め方について</li></ul>
11月8日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 現計画の進捗状況</li><li>・ 地域の強みと課題について意見交換</li><li>・ 地域福祉に関するアンケートおよび地域福祉ウォッチャー調査について</li><li>・ 市民参加型ワークショップ及び対象別ヒアリングについて</li></ul>

2024（令和6）年

日程	内容
3月11日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 政策動向の確認について</li><li>・ 第1回作業部会の報告</li><li>・ 対象別ヒアリングの実施について</li></ul>
7月24日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 重層的支援体制整備事業実施計画策定について</li><li>・ 現計画の振り返りについて</li><li>・ 次期計画の重点推進事項について</li></ul>
9月18日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 次期計画の構造、理念、重点推進事項の案について</li><li>・ 次期計画の評価方法について</li></ul>

2025（令和7）年

日程	内容
1月15日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 第6回作業部会の振り返り</li><li>・ 次期地域福祉計画の素案について</li></ul>
2月4日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 第6回委員会の振り返り</li><li>・ 次期地域福祉市民活動計画の素案について</li></ul>
5月14日	開催予定

## ②作業部会

2024（令和6）年

日程	内容
2月26日	<ul style="list-style-type: none"><li>・第2回委員会の振り返り</li><li>・国の政策動向の確認について</li><li>・市民参加型ワークショップで抽出された内容に関する意見交換</li></ul>
4月24日	<ul style="list-style-type: none"><li>・第1回作業部会の振り返り</li><li>・地域福祉に関するアンケート、地域福祉ウォッチャー調査の結果について</li><li>・対象別ヒアリングの結果について</li></ul>
5月29日	<ul style="list-style-type: none"><li>・第2回作業部会の振り返り</li><li>・地域福祉に関するアンケート（自由記述）について</li><li>・対象別ヒアリングの結果について</li></ul>
6月19日	<ul style="list-style-type: none"><li>・第3回作業部会の振り返り</li><li>・現在までの傾向と将来の見通しについて</li><li>・重点推進事項について</li></ul>
8月20日	<ul style="list-style-type: none"><li>・現計画の構造について</li><li>・次期計画の理念と目標について</li></ul>
11月27日	<ul style="list-style-type: none"><li>・第5回委員会の振り返り</li><li>・次期計画の推進事項の最終案について</li><li>・次期計画の評価に関するロードマップについて</li></ul>



## (2) 第6次地域福祉市民活動計画策定委員会設置要綱

### 社会福祉法人立川市社会福祉協議会第6次地域福祉市民活動計画策定委員会設置要綱

#### (目的)

第1条 この要綱は、社会福祉法人立川市社会福祉協議会（以下「社協」という。）第6次地域福祉市民活動計画（以下「市民活動計画」という。）の策定委員会の設置について必要な事項を定め、もって地域福祉の推進に寄与することを目的とする。

#### (任務)

第2条 策定委員会の任務は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 市民活動計画の策定に関する必要な事項の検討
- (2) その他、社協会長が必要と認めた任務

#### (策定委員会)

第3条 策定委員会の委員は、次の各号の中から15名以内を選任し、社協会長が委嘱する。

- (1) 公募市民
- (2) 学識経験者
- (3) 民生委員・児童委員
- (4) 保健、医療及び福祉に関係する団体が推薦する者
- (5) 市民活動団体・地域活動団体関係者
- (6) 立川市自治会連合会が推薦する者
- (7) 立川市商店街振興組合連合会が推薦する者
- (8) その他社協会長が必要と認めた者

2 策定委員会に委員長1名、副委員長1名を置き、委員の互選によってこれを定める。

3 委員長は、会務を総理し、策定委員会を招集し議事を進行する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

#### (任期)

第4条 策定委員の任期は、委嘱をした日から第2条に規定する任務が終了するまでとする。

#### (部会)

第5条 策定委員会は、市民活動計画の策定に関する調査及び検討を行うため、必要に応じて作業部会を置くことができる。

2 部会の委員は、策定委員会委員と社協関係者とする。

3 部会は、社協事務局が招集し議事を進行する。

#### (事務局)

第6条 策定委員会の事務局は、社協地域活動推進課が担当する。

**(費用弁償)**

第7条 委員（委員長除く）には、社会福祉法人立川市社会福祉協議会費用弁償規程にもとづき費用弁償を行う。

**(委任)**

第8条 この要綱の施行について必要な事項は、社協会長が別に定める。

**附則**

この要綱は、2023年4月1日から施行する。



(3) 第6次地域福祉市民活動計画策定委員会 委員名簿

No	氏名	所属団体等
1	久下沼 諒	公募市民
2	藤原 紀子	公募市民
3	◎熊田 博喜	武蔵野大学 人間科学部 社会福祉学科
4	井村 良英	認定特定非営利活動法人 育て上げネット
5	大江 尚之	株式会社こたつ生活介護
6	太田 なつみ	学生
7	岡本 彰子	多摩信用金庫 価値創造事業部
8	小澤 清富	立川市商店街振興組合連合会
9	景山 千鶴子	たまがわ・みらいパーク企画運営委員会
10	齋竹 一子	立川市訪問看護連絡会
11	菅根 浩子	北部東わかば地域包括支援センター
12	富山 孝雄	立川市自治会連合会
13	○中村 喜美子	立川市民生委員・児童委員協議会
14	中村 ひとみ	障がいのある人もない人も暮らしやすい立川を考える会
15	宮本 直樹	立川市社会福祉協議会

※「所属団体等」は2024（令和6）年度末現在 ◎は委員長 ○は副委員長 （敬称略）

## 2 調査研究等



### (1) 地域福祉に関するアンケート調査（実施：立川市）

この調査は、市民の生活状況や課題、地域での支えあいの状況などを把握し、計画の策定作業を進めていく上での基礎資料とすることを目的に実施しました。

#### ① 調査実施の概要

調査期間	2023年10月3日調査票発送から11月15日回答投函・オンライン送信締め切り（郵送は2023年11月30日到着分まで受け付け）
対象者	2023年10月1日現在、立川市在住の満18歳以上の方から無作為に3,000人を抽出
有効回答数・回答率	1,192件（39.7%）

#### ② 調査結果の概要

（地域福祉に関するアンケート調査報告書 2024年7月より抜粋）

「○（調査結果から読み取れること）」、「(Q.) 関連する設問」>「(A.) 回答」という構成でまとめた。

#### ○地域生活の満足度は高い

Q. あなたは立川市やお住まいの地域の生活に満足していますか。

A. 満足・どちらかといえば満足 84.8%

#### ○外出を諦めた理由は移動手段やきっかけ、費用の問題が多い

Q. あなたは外出したいと思っても、困りごとがあるために諦めたことがありますか。

A. ある 22.5% いいえ 75.7%

Q. 「ある」と回答した方にお聞きします。外出を諦めたのはどのような理由でしたか。

A. 目的地までの移動手段がないため 34.7%

A. 気軽にでかけることができる場所、機会、きっかけがないため 26.1%

A. 費用がかかり負担となるため 25.4%

○一番目に利用の多い交通手段は、「自転車・バイク」、「自家用車（自分で運転する）」、「徒歩」が多く、二番目の交通手段としては、「バス」、「電車、モノレール」も多い。

Q. 日頃、市内を移動するとき最も利用する交通手段はなんですか。

- A. 自転車、バイク 26.9%
- A. 自家用車（自分で運転する） 23.4%
- A. 徒歩 17.0%

Q. 回答した交通手段の利用頻度について、お聞かせください。

- A. ほとんど毎日 50.9%

Q. 日頃、市内を移動するときに2番目によく利用する交通手段はなんですか。

- A. 徒歩 21.0% A. バス 16.7%
- A. 自転車、バイク 16.4% A. 電車、モノレール 14.8%

Q. 回答した交通手段の利用頻度について、お聞かせください。

- A. 月に数回 30.7% A. 週に1～2日 30.6%

○外出目的は買い物や仕事が多い

Q. 外出の目的として、最も頻度が高いものはなんですか。

- A. 買い物 46.4% A. 仕事 34.4%

Q. 回答した目的の頻度はどのくらいですか。

- A. ほとんど毎日 39.0% A. 週に3～4日 27.5%

Q. 外出の目的として、2番目に頻度が高いものはなんですか。

- A. 買い物 41.4% A. 通院 12.9% A. 家族、友人との交流 12.9%

○居住する地域の範囲の認識に差はあるが、丁目と町が多い

Q. あなたが「お住まいの地域」として考えるのは、どのくらいの範囲ですか。

- A. 丁目(徒歩 15分程度) 29.0%
- A. 町(徒歩 30分程度) 28.0%

○地域の中でのつきあいは、挨拶が中心

Q. 「お住まいの地域」の中でお付き合いはどの程度ですか。

- A. 顔をあわせれば挨拶する 40.8%

○困り事を手伝いたい気持ちを持っているが、事情があり手伝えないほかに、きっかけがないことも多い

Q. 「お住まいの地域」の方が生活上の困りごとを抱えていることが分かった場合あなたはどうしますか。

- A. 手伝う 41.9%
- A. 手伝いたいと思うが事情があって手伝うことが難しい 35.3%

Q. 「手伝いたいと思うが事情があって手伝えることが難しい」と回答した方にお聞きします。そう考える事情はどのようなことですか。

- A. 仕事や家の用事で忙しい 52.3%
- A. 健康上の理由 25.2%
- A. きっかけがない 24.2%

○地域の困りごとで手伝える範囲は「声かけ・見守り」が特に多い

Q. 「手伝える」と回答した方にお聞きします。次のような困りごとのうち手伝える範囲について、お聞かせください。

- A. 声かけ・見守り 82.2%
- A. 話し相手 51.3%
- A. 買い物代行 32.1%

○相談先として公的な窓口の役割は高い

Q. あなた自身、もしくはあなたと同居する方が生活上の困りごとを抱えた場合、どこに相談しようと考えますか。

- A. 家族（親族） 77.0%
- A. 市役所などの行政窓口 46.6%
- A. 友人 35.9%
- A. 市が開催する「くらしの相談」等の専門家相談 21.4%
- A. 社会福祉協議会、地域包括支援センター等、行政以外の相談窓口 21.1%

Q. あなた自身、もしくはあなたと同居する方が生活上の困りごとを抱えた場合、解決に関する情報はどこから得ますか（得ようと思えますか）。

- A. インターネット情報（市、社会福祉協議会以外） 52.1%
- A. 市役所の各種窓口 46.8%
- A. 市、社会福祉協議会のホームページ 33.2%
- A. 市報（広報たちかわ）や社会福祉協議会広報（あいあい通信、まちねっと）

31.6%

○情報の入手は、IT、アナログ、双方から

上記参照

○なんでも相談できる窓口の必要性が高まっている

Q. 生活上の困りごとを抱える人を支援するために、あなたが必要と思うものはなんですか。

A. 日頃からの家族、親族とのコミュニケーション 60.1%

A. なんでも相談できる窓口の設置 57.2%

○防災対策として取り組むことができることは防災訓練への参加

Q. 地震や風水害が発生したとき、その被害を広めないために地域で日頃から取り組んでおくこととしてあなたができることはなんですか。

A. 防災訓練、避難訓練への参加 53.1%

A. 地域での防災マップづくり 31.5%

○住民や地域団体が主体となって取り組むほうがより効果的であるものは、「声かけ・見守り」と「健康づくり」

Q. 地域で発生する課題の中には、行政のみの対応や既存の制度による専門的な対応だけでは解決できない課題が数多くあります。次のような課題や取組の中で、住民や地域団体が主体となって取り組むほうがより効果的であると思うものはなんですか。

A. 子どもや高齢者への声かけ・見守り 49.8%

A. 住民の健康づくり 32.4%

A. サロン、サークル等の交流の場づくり 26.8%

A. 防災訓練、避難訓練 25.0%

A. 子ども食堂 25.0%

○立川市で重点的に取り組むべきことは、

「相談窓口の設置」「情報が届く仕組みづくり」「福祉サービスの質」

Q. 今後、立川市をより住みやすいまちにするために、次のうちなにを重点的に取り組むべきだと思いますか。

A. なんでも相談できる相談窓口の設置 46.2%

A. 支援が必要な人に必要な情報が届くしくみづくり 45.5%

A. 福祉サービスの質の向上 40.9%

A. 相談体制の充実 38.9%

A. 防犯・防災への取り組み 35.1%



## (2) 地域福祉ウォッチャー調査（実施：立川市）

地域福祉に関係の深い活動に携わり、地域の実情に詳しい人を「地域福祉ウォッチャー」として依頼し、日ごろから見守っている地域の現状をそれぞれの観点から判断してもらうことで地域福祉の動向を把握することを目的とした調査です。

### ① 調査実施の概要

対象地域 (市内全域)	・富士見町・柴崎町（1地区） ・錦町・羽衣町（2地区） ・曙町・高松町・緑町（3地区） ・栄町・若葉町（4地区） ・幸町・柏町・砂川町・泉町（5地区） ・上砂町・一番町・西砂町（6地区）
調査対象	・民生委員・児童委員 ・自治会 ・老人クラブ ・ちょこっとボランティア協力員 ・地域学習館運営協議会委員 ・地域包括支援センター職員 ・支えあいサロン ・小中学校教員
対象者数	479人（各地区70～100人）
回収結果	・回答数 337件 ・回答率 70.4%
調査基準日	令和5年12月1日（令和5年12月15日締切り）
調査の内容	・住みやすさの現状 ・住みやすさの変化の方向性 ・地域のつながりの状況 ・つながる活動や機会 ・支えあう場、支える人材の状況 ・住民が主体的に見守り支えあう雰囲気

### 指数説明

●5段階の選択肢に以下の点数を与え、これらに各回答区分の構成比（%）を乗じて、指数を算出しています。

○住みやすい・良くなっている・充実している・広がっている・・・1

○やや住みやすい・やや良くなっている・やや充実している・やや広がっている・・・0.75

○どちらとも言えない・変わらない・・・0.5

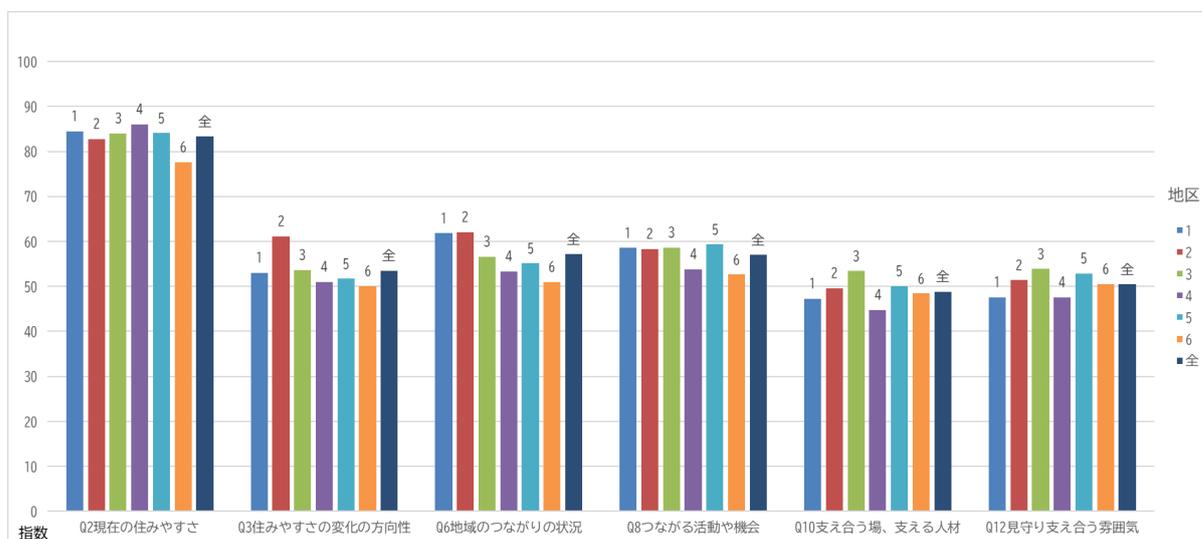
○やや住みにくい・やや悪くなっている・やや後退している・・・0.25

○住みにくい・悪くなっている・後退している・・・0

指数は50を基準とします。50であれば変化が横ばいである事を示し、50を上回れば「良くなっている」、下回れば「悪くなっている」と判断されている事を示します。

## ② 調査結果

### 令和5年度 地域福祉ウォッチャー調査 地区別指数比較

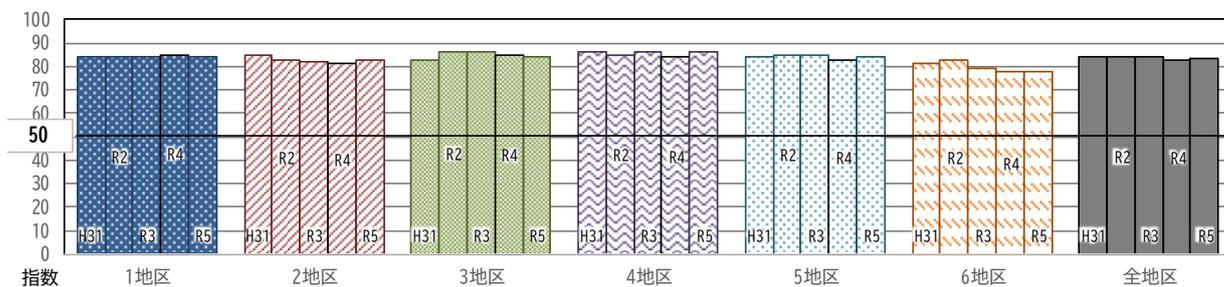


#### コメント：

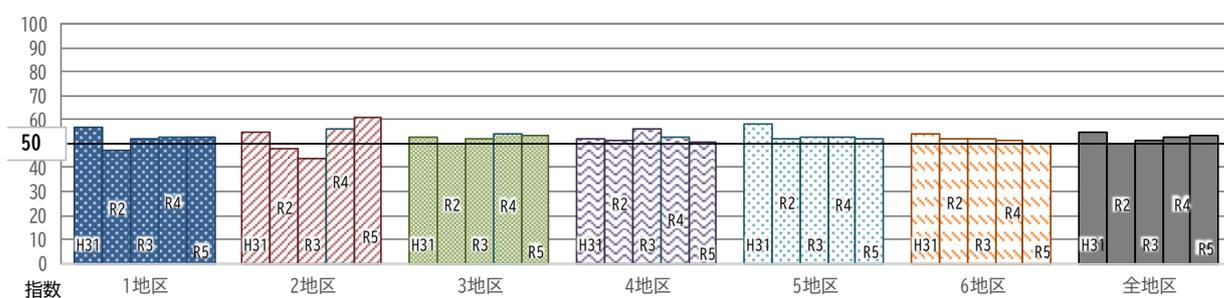
- ・「Q2 地域の住みやすさ」について、全地域とも住みやすいと感じている人が多い。
- ・「Q3 住みやすさの方向性」について、2地区が高い指数を示している。
- ・「Q6 地域のつながりの状況」について、1、2地区が高い指数を示している。



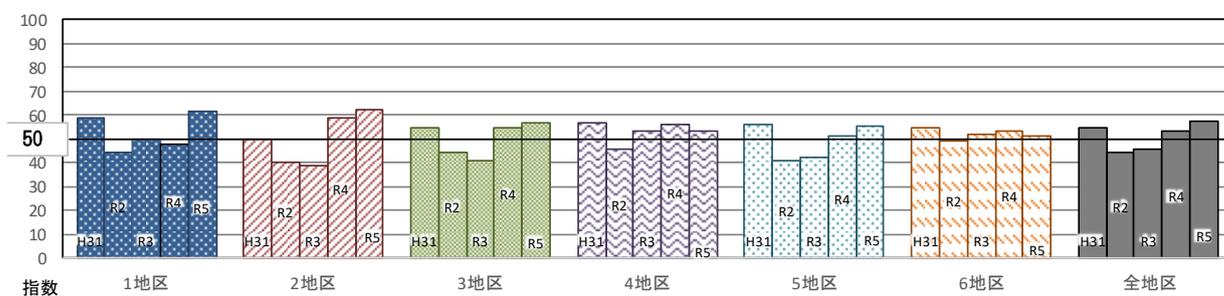
## Q2. 現在の住みやすさについて



## Q3. 住みやすさの変化の方向性について



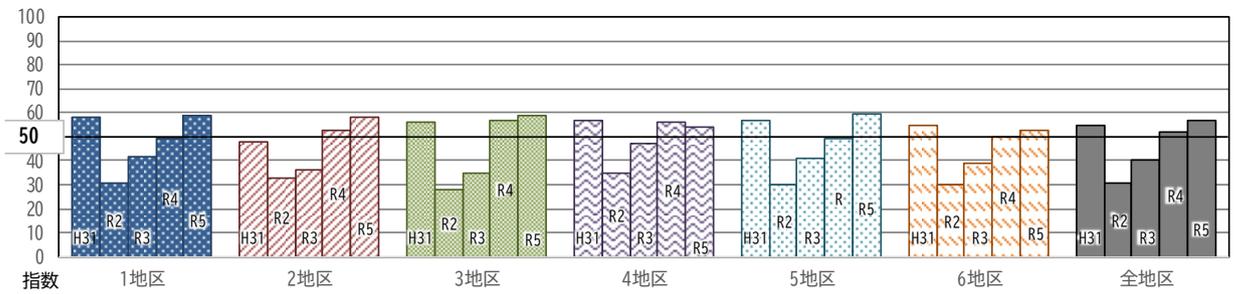
## Q6. 地域のつながりの状況について



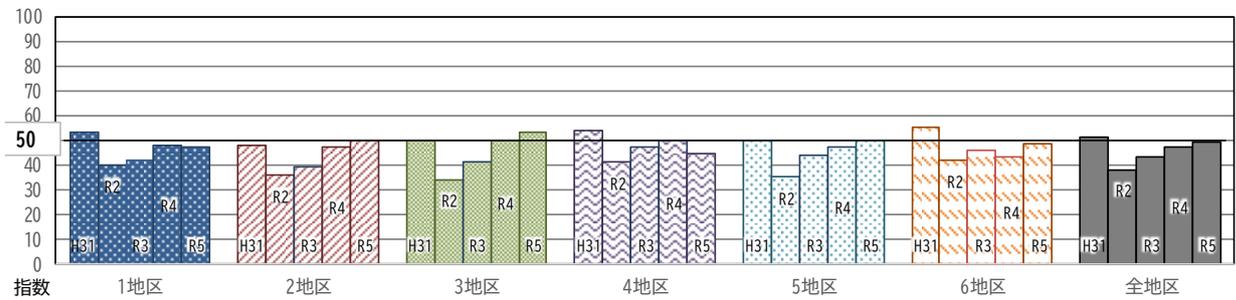
### コメント：

- ・「Q2 現在の住みやすさ」「Q3 住みやすさの変化の方向性」については、指数が大きな変化は見られない。
- ・「Q6 地域のつながりの状況」については、コロナ禍からの回復傾向がみられる。

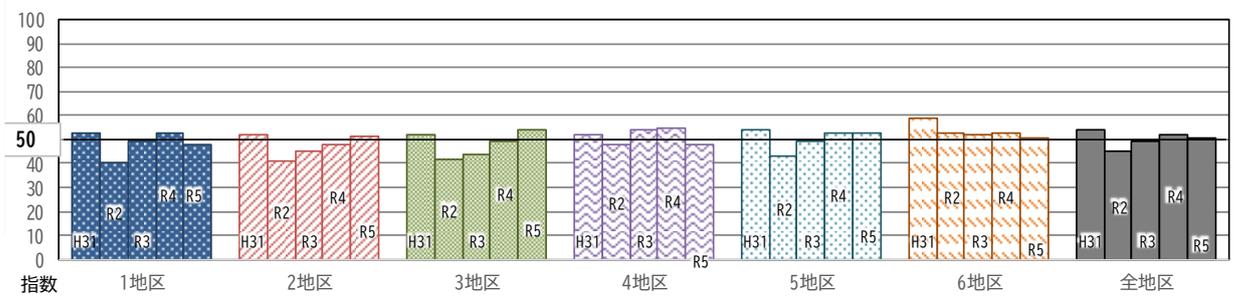
Q8. つながる活動や機会について



Q10. 支えあう場、支える人材について



Q12. 見守り支えあう雰囲気について



コメント：

- ・「Q8 つながる活動や機会」、「Q10 支えあう場、支える人材」、「Q12 見守り支えあう雰囲気」については、コロナ禍からの回復傾向がみられる。

### (3) 市民参加型ワークショップ

地域住民に呼びかけて、地域住民同士が地域の課題や展望を話し合う地域懇談会や、地域福祉アンテナショップに関わっている人同士で今後を検討するワークショップを開催し、地域課題等の把握を行いました。

#### ○富士見町地区地域懇談会：

日時	①2024年1月15日(月) 19:00~21:00 ②2024年2月19日(月) 19:00~21:00
場所	滝ノ上会館
参加人数	①46人 ②31人
対象者	富士見町在住・在勤・在学の方、富士見町に関わりのある方等

#### 【内容】

住民や、富士見町地区で活動している方が日頃の生活や活動の中で感じている地域の強みや可能性を共有するとともに、より良い地域となるための改善点や困りごとを検討しました。また、第2回では、地域福祉アンテナショップの設置も含め、地域の居場所の在り方について意見交換しました。

#### 【意見】

##### ○地域活動や生活の中での困りごと

- ・人材やボランティアが不足している。
- ・若者の集まれる場所が少ない。
- ・気軽に立ち寄れる場所が少ない。
- ・ゴミ出しのボランティアが減少している。
- ・自治会への加入率の低い。役員のなり手が不足している。
- ・災害時に障害者が避難所に行きにくい。

##### ○地域の強み

- ・人々が温かく、戻ってきたくなるまちである。
- ・住民同士が助け合っている。
- ・自然が豊富で、地域に多彩な散歩コースがある。

##### ○地域の課題

- ・よろず相談ができる場所が近くにほしい。
- ・コミュニティ活動の告知ができていない。
- ・集会等に新しく参加する人が増えない。
- ・障害者が地域に出る機会が少ない。
- ・多世代が交流する場所が少ない。



○地域福祉アンテナショップ：

日時	2023年12月16日（土）13：00～16：00
場所	たましん RISURU ホール
参加人数	24人
対象者	地域福祉アンテナショップに興味がある方

【内容】

地域福祉アンテナショップで活動している方による活動報告会の後、現在地域福祉アンテナショップで活動している人や今後活動したい人が共に、地域福祉アンテナショップの方向性や課題を検討しました。

【意見】

○地域福祉アンテナショップの強み、よかったこと

- ・活動を通じた出会いや交流が自分自身にとっての楽しみになっている。
- ・子どもから年配の方（多世代の方）の居場所になっている。
- ・今まで出会えなかった方との出会いを通じて仲間が増えた。
- ・地域の方とのコミュニケーションが増え、地域の方の笑顔を間近で見られる。
- ・子どもにいろいろな体験をさせることができる。

○地域福祉アンテナショップの課題、困っていること

- ・地元の方の参加者が少ない。
- ・場所の確保ができず、物の保管に困ることがある。
- ・運営資金の確保に苦労している。
- ・子どもへの案内がなかなか行き渡らない。

○今後の活動に向けた意見

- ・色々な活動があることで、その人にあった場所を選べるようになる。
- ・活動を続けるためには、自分が楽しむことが大切である。
- ・少人数でもできる活動から始めるのも良い。
- ・まずは仲間づくりを目指す。



#### (4) 対象別ヒアリング

「教育」「多文化」「障害」「更生保護」の各分野の専門機関等に個別にヒアリング調査をするとともに、こども基本法に基づく子どもの意見聴取として、10人の子どもからも直接ヒアリングを行いました。質問項目は活動や生活上での課題や、その解決策を中心に、対象別に質問項目を調整し、状況や対象者の反応によって自由に質問を変えていく半構造化面接として実施しました。

##### ○各ヒアリング調査の概要

日時	① 令和6（2024）年4月7日（日）10：30～11：00 ② 令和6（2024）年4月10日（水）13：30～15：15 ③ 令和6（2024）年4月10日（水）14：00～15：00 ④ 令和6（2024）年4月17日（水）14：00～15：30 ⑤ 令和6（2024）年3月中旬
場所	各地で実施
参加人数	①～④各1名、⑤10名
対象者	①小学校に頑張って通っている小学生に関わっている大人 ②日本語を母国語としない子ども達に日本語を教える NPO 法人 ③発達に不安がある子どもを育てる保護者を支える市民活動団体 ④非行、犯罪の防止及び健全育成に関する活動に取り組んでいる団体 ⑤小学校4年生～高校生までの子ども

#### 【意見】

対象者	活動中の課題（抜粋）
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「合唱の時間が一番楽」なぜなら、「立っているだけでいいから」 →内容がわからないまま授業に出席するのは辛い。</li> <li>・「木曜日と金曜日が辛い」「学校が午前中だけだったら耐えられる」 →自分の感じていること、考えていることを自由に話せる時間が少ない。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体によって外国ルーツの子どもへの支援の内容が異なり、日本語教育の支援内容に差が生まれている。</li> <li>・義務教育が終わった15歳以上の既卒者は、語学支援を含めて支援につなげにくい。</li> <li>・日本語教育ができるボランティア養成に課題がある。まったく日本語ができない人に日本語を教えるには、それなりの技術が必要である。</li> <li>・必要な情報を得ることが出来ていないことが多く、情報保障が不足している。</li> </ul>



③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生でおよそ 8 パーセント、1 割近くが何らかの障害を持っている。単独団体が発達障害への理解啓発を行っていても限界がある。</li> <li>・情報の周知。つながりにくい人とどうつながるかは課題がある。</li> <li>・立川市は発達障害の相談に乗ってもらえる医療機関が少ない。また、診察と療育を一緒にしてくれる場所がない。</li> <li>・立川市内の幼稚園で発達に特性のあるこどもを受け入れてくれるところが少ない。</li> </ul>
④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非行で相談・収容されるのは、今も昔も変わらず窃盗、暴行が多い。</li> <li>・民間との連携がもっと強くなれば良いと思うが、施設から情報提供することは難しい。</li> <li>・保護観察が切れた後の相談先が不足していたり、情報が届いていなかったりする。</li> <li>・非行に走る原因は個々違うが、家庭環境の厳しさが要因になっていることは多い。家の中全体に余裕がなくなっているし、親を誰が支援するのが課題である。</li> </ul>
対象者	立川市に住んでいてもっとこうだったらいいのって思うことってある？
⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの本数が少ない。住んでいるエリアから駅に出るバスの本数が 1 時間に 4 本しかなく、塾に行く時間を考えるのが難しかった。自転車で行ける人は良いけど、高齢者や通勤通学等でバスを利用する人は困っていると思う。</li> <li>・サッカーができるような環境を整えて欲しい。近隣公園はボール遊び禁止の場合が多く、練習をする時は距離の離れた公園まで行かなければいけない。また、立川市は人工芝のグラウンドが少ない為増やしてほしい。</li> <li>・野球グラウンドが多いが、サッカーグラウンドがなく、ボールを蹴られるところが少ない。</li> <li>・給食は自校式の方が出来たてで美味しかったと感じる。</li> <li>・駄菓子屋がないこと。コンビニは高くて買うことが難しい。</li> <li>・高齢者がひきこもらないように、公園に運動器具を置いてほしい。</li> <li>・ブランコがない公園やボール遊び禁止の公園が多い。</li> <li>・公園内に、自由に使用して良い遊び道具があると良い。バドミントンは兄弟が使っていると使えない日があること、持っていない子もいる為、皆で使える遊び道具が欲しい。</li> <li>・入りやすい店が少ない。チェーン店が少ない。駅の近くがうるさい。</li> <li>・大人の人が行くお店が多く、パチンコ屋や駅前のキャッチが怖い。</li> <li>・趣味が同じ、気の合う人にもっと会えると良い。</li> </ul>

(5) 市民意見公募 (パブリックコメント)

公募期間	2025年（令和7年）年4月1日～4月21日
提出者数・件数	〇人・〇件
意見を反映した件数	〇件

パブリックコメントの結果はこちらに掲載予定です。

### 3 その他

#### (1) 地域福祉計画策定検討委員会委員からのメッセージ

委員名	メッセージ
<p>委員長</p> <p>クマダ ヒロキ 熊田 博喜</p>	<p>2年の時間を掛けて計画が完成しました。「計画が」と書きましたが、ここでいう計画は、地域福祉計画と地域福祉市民活動計画を指しています。そしてこれらの計画の策定のための合同委員会を設置して議論を深めて参りました。</p> <p>行政計画である地域福祉計画と民間計画である地域福祉市民活動計画は一体的に作る必要があることはよく言われています。とはいえそれぞれの立場もあって実現が難しい状況にあります。立川市では相互の関係がこれまでの実践を通して深まった一つの到達点として合同での策定を実現することができました。</p> <p>地域生活課題が深刻化する中で、分野を横断した取り組みが求められていますが、主体を横断した取り組みも重要です。委員会では15人のメンバーが時に笑顔で時に真剣に議論を深めました。その成果がこの計画に結実しています。地域福祉コーディネーター、相談できる体制、つながり・支えあい、担い手支援、地域福祉アンテナショップを重点項目とし行政・民間が一体となって「一人ひとりが共に生き、幸せ広がる立川」の実現を目指します。</p> <p>計画完成に際して関係した全ての皆様に感謝すると共に、計画の実現に向けてのお力添えをお願い申し上げます。</p>
<p>副委員長</p> <p>ナカムラ キミコ 中村 喜美子</p>	<p>様々な分野で活動している委員の皆様と、暮らしやすい立川についての話し合いができたことは、大変勉強になりました。</p> <p>今地域では少子高齢化や、セルフネグレクト、生きづらさをかかえる人々の増加等、課題が複合化、深刻化しています。</p> <p>グループワークでは、地域福祉向上につながるキーワードがたくさん出てきて、ワクワクしながら検討を進めて参りました。</p> <p>この計画が、地域福祉の更なる推進に結びつき、皆の笑顔が増えるよう、地域の見守りに努めていきたいと思っております。</p>

<p>クゲスマ リョウ 久下 沼 諒</p>	<p>今回はじめて両計画の策定委員として参加させていただきました。たくさんの気付きや学びがあり、毎回の委員会が非常に充実した時間でした。</p> <p>小学生時代から今まで 20 年以上を過ごし、今ではこの街で事業を立ち上げて活動していますが、本当に立川が大好きです。その気持ちを計画に反映させることが出来たのではないかなと思っています。</p> <p>今後も私自身、この街の一員として「共に生きる」ことを楽しみにしています。</p>
<p>フジワラ ノリコ 藤原 紀子</p>	<p>地域福祉計画づくりの一員になり、多くの学びとインスピレーションを与えられました。ここで出会った皆様に心より感謝致します。</p> <p>社会変革による価値観やライフスタイルの多様化で、戸惑い、葛藤、生きにくさを感じる人が増えました。福祉計画を実践に移すことによって、地域住民にとって心のオアシスができ、誠意ある親切の輪が広がり、もっと多くの方が幸せを感じることを祈願致します。</p>
<p>イムラ ヨシヒデ 井村 良英</p>	<p>本計画の理念に掲げられている「しあわせ」、ハーバード大学の研究によると、「しあわせ」の要因はよい人間関係にあるのだそうですね。</p> <p>お互いの理解を深めあい、尊敬しあう関係ということなのかもしれません。あいあいプランには、「助けあい」「支えあい」などの「あい」を大切にするという想いが込められています。</p> <p>大人、子ども、若者、すべての人にとって大切な「I（私）」が立川でずっと大切にされていきますように。</p>

<p>オオエ ナオキ 大江 尚之</p>	<p>当初は「地域福祉」という捉えどころのないものを、多くの委員さんが集まった中で紙に落とし込めるのか、ましてや気持ちや想いが込められるのかといった不安の中で参加させていただきました。</p> <p>委員会を重ねる中、多様な視点からの意見をうかがい計画に落とし込んでいく作業を目の当たりにし、一人ひとりの意見やアイデアが大事に扱われている過程に参加させてもらうにつけて、参加させてもらった意味を理解していきました。</p> <p>私にとっても一人ひとりが共に生きること、やさしいつながりを感じ取った委員会でした。ありがとうございました。</p>
<p>オオタ ナツミ 太田 なつみ</p>	<p>大学生という未熟な立場ではございましたが、2年間にわたりこの委員会に参加させていただきありがとうございました。</p> <p>多様な分野でご活躍の熱心な委員の皆さまに囲まれ、毎回刺激を受けるとともに多くのことを学ばせていただきました。</p> <p>私は生まれ育った立川市がとても好きです。学生ボランティアとして立川市で活動してきたことや、学生という立場だからこそその視点を計画に生かし、市の発展に尽力出来ればとの思いで参加させていただきました。</p> <p>本計画がより多くの方々に届き、立川市がより良く幸せに暮らせるまちにつながっていくことを期待しております。</p>
<p>オカモト アキコ 岡本 彰子</p>	<p>市内企業かつ金融機関という立場で会議に参加しました。</p> <p>地域課題が多様化・複雑化している中、委員会では良い地域社会の実現に向け、行政だけでなく地域住民や企業・団体が横断的に取り組むにはどうすればよいのか議論を重ねました。</p> <p>委員の方々が真剣・活発に意見交換をする姿には、毎回刺激を受けました。私なりに、抽象的な内容はなるべく具体的な表現へ、より実効性の高い内容にするべく努めました。</p> <p>立川市地域福祉の更なる深化を期待します。</p>

<p>オザワ 小澤 キヨトミ 清富</p>	<p>今回の策定委員会で令和6年度はなかなか時間が合わず残念ながらあまり参加できませんでした。 委員会では毎回使われている語句、表現1つ1つにいろいろな受け止め方、受け止められ方があり、様々な視点から多くの意見が寄せられ、出来上がった成果物の内容はもとより見やすく解りやすい読みやすいものができたと思います。</p>
<p>カゲヤマ 景山 チヅコ 千鶴子</p>	<p>策定委員会に参加させていただきありがとうございます。 長い期間自治会活動、学供施設の運営委員会などに関わってきましたが、「井の中の蛙大海を知らず」だった自分に反省ばかりです。 会の委員の方々、立川市、社会福祉協機会の職員の方たちが、立川市に住んでいるすべてのひとが安心・安全に暮らせる町づくりを目指し、熱い思いを持って会議に臨んでいる姿に感銘しました。 今後は、微力ではありますがこの会議で学んだ活動を活かして行きます。</p>
<p>サイタケ 齋竹 カズコ 一子</p>	<p>策定委員として初めて参加させて頂きました。委員の皆様の考えや意見を伺い、立川にはすごい人材が沢山いらっしゃるんだと率直に感動でした。 私は医療の世界に身を置いておりますが、狭い世界だったと今更知った思いです。「やさしいつながりのあるまち」はとても温かいまちのイメージです。皆さんと手を取り合い、関係者として今後も地域の活動などに積極的に参加していきたいと思います。</p>
<p>スガネ 菅根 ヒロコ 浩子</p>	<p>福祉というとなんとなく「保護してもらおう」というような受け身のイメージがありました。しかし、委員の皆様の発言や立川市の方向性を聞いていくなかで、立川で暮らすことで充実した生活が送れる環境づくりをしていくこと、一言でいうと「自ら生き方を選べる立川市を目指すこと」だと考えが変わりました。 このような思いが詰まった本計画をもとに、個性輝く立川市民があふれていくことを期待します。</p>

<p>トミヤマ 孝雄 富山 孝雄</p>	<p>本計画策定委員として、自治会連合会から参加しました。令和6年1月には富士見町地域懇談会が開かれ、「団体」「個人」としての困りごと、地域の強み・課題について出しました。地域の課題について貴重な意見を聞くことができ、これからの自治会活動の参考にしたいと思います。</p> <p>委員の構成メンバーの方々は地域福祉に活躍されている方ばかりで、たいへん勉強になりました。ありがとうございました。</p>
<p>ナカムラ ひとみ 中村 ひとみ</p>	<p>立川には、たくさんの熱意ある市民団体、法人や企業、個人の方がいて、連携を大切にしながら「誰かのために」がんばっています。私は、そんな立川市で大変だった子育てを支えられ、今度は自分が誰かのために活動しています。</p> <p>その「誰かのために」という市民力の高さが、立川の魅力だと、今回の委員会に参加させていただき改めて実感しました。それを活かし支えるための素晴らしい計画になったのではないかと思います。</p> <p>改めて、2年間ご一緒させていただいた委員の皆様、市・社協の事務局の皆様、皆様の立川への熱い想いに刺激をいただきました、ありがとうございました。</p>
<p>ミヤモト ナオキ 宮本 直樹</p>	<p>私が共感したテレビドラマの主人公のセリフを引用させていただきます。</p> <p>「私がこの町（立川）に来てから力になってくれたのは縁もゆかりも無かった人達です。だからこの縁を大事にしたいなって。(コインランドリーで)洗濯を待っている間にホッと一息つける場所が有ったらなって。何でもないお喋りをしたり、美味しいコーヒーを飲んだり、ただ一人でボーっとしたり。忙しくても一杯一杯でも一日の中に、もし、そういうちょっとしたお暇（おいとま）の時間が有ったらなって。そういう場所を、つくれたらって。つくりたいなあって。私やってみたいんです。」</p>

Special Thanks

(2) 用語解説 (説明文は作成中です)

あ行

用語	説明
ICT	
アウトリーチ	
アウトリーチ専門員	
アセスメント	

か行

用語	説明
基幹相談支援センター	
ケアラー	
経済団体	
子育て支援・保健 センター (はぐくるりん)	
子ども家庭支援センター	
子ども支援 ネットワーク	

さ行

用語	説明
支えあいサロン	
自立支援協議会	
市民	
市民活動団体	
市民後見人	
住民	
社会福祉協議会	
重層的支援会議	
スーパーバイズ	

成年後見制度	
生活困窮者	
全世代型社会保障	
相談支援包括化推進員	

た行
----

用語	説明
立川市くらし・しごと サポートセンター	
立川市社会福祉法人 地域貢献活動推進 ネットワーク (ふくしネットたちかわ)	
たちかわ 地域サポーター講座	
たちかわまちなねっと WEB	
地域あんしん センターたちかわ	
地域活動支援センター	
地域活動団体	
地域共生社会	
地域住民	
地域生活課題	
地域福祉 アンテナショップ	
地域福祉 コーディネーター	
地域福祉市民活動計画	
地域包括 ケアシステム	
地域包括支援センター	
地域見守り ネットワーク事業	

ちよこつとボランティア	
-------------	--

な行
----

用語	説明
夏！体験ボランティア	
日常生活圏域	
日常生活自立支援制度	
認知症サポーター	

は行
----

用語	説明
8050 問題	
伴走支援	
ひきこもり	
フォーマルサポート・ インフォーマルサポー ト	
フードバンク	
ボランティア・市民活 動センターたちかわ	

ま行
----

用語	説明
民生委員・児童委員	
メタバース	

や行
----

用語	説明
やさしい日本語	